

議会改革度調査で全国7位 とはいっても

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年行っている「議会改革度調査」で、上越市議会は全国の1347議会(調査応募数)の中で9位、市区では7位という結果になりました。

この調査は、①本会議や委員会の議事録・動画・資料、また賛否結果と理由・政務活動費・視察結果などをどれだけ住民に対して公開しているか、②議会傍聴のしやすさや議会報告会等の実施、住民からの意見受付がどれだけ進んでいるか、③議会本来の権限や能力を発揮するための機能がどれだけ強化されているかを基本的視点として調査したものとされ

ています。

上越市議会はこれらの内、特に②の項目で高い評価を受けており、「開かれた議会」作りを進める取組が進んでいるとされています。議会報告会が定着していること、市民からの意見もその都度しっかりと受け止めていることなどが評価されたようです。

逆に、③の「機能強化」では相対的に評価が低く、「行政執行への監視機能」「議会としての政策提言」「議員発議での条例制定」などの取組に関して、まだまだ改善の余地があることを示しています。

事実、このところ、市長提案はほぼ無条件に可決され、市民の中で意見が二分されている問題も議会の中では大半の議員が「行政寄り」といった状態ですから、評価が低くなることもうなづけます。

議会基本条例は、「議会は、(中略)広域化した市域の課題の把握とそこに暮らす市民の様々な意見の反映に努め、議員間の自由な議論を展開しながら、政策立案及び政策提言を積極的に行う必要がある」と定めていますが、今こそ、こうした基本的視点を再確認し、積極的に市民意見を生かす政策を打ち出すべき時です。

あじさいの里まつり に数百人 正善寺工房

前日の大雨もあがり、上々の天気になった2日、正善寺工房では「あじさいの里まつり」が開かれました。

おなじみの地元産野菜や山菜の即売の他、振る舞い

餅、七夕飾り作り、フォークグループの演奏など、もりだくさんのイベントで盛り上がりしました。

工房から正善寺ダムにかけては、沿道、ダムサイトともあじさいの花が盛りです。これも、地元町内会等が中心になって植栽し、道行く市民に楽しんでもらおうと日頃から丹精込めて手入れをしている賜物です。まさに地元が支える観光資源です。



1日4万立方メートルの水を供給 正善寺浄水場を見学

このほど機会があり、岩木の正善寺浄水場を見学してきました。同浄水場は、正善寺ダム水を水源として合併前上越市の他に、三和区、清里区、板倉区に配水しています。

ここでは、ダムの水に混じった汚れをポリ塩化アルミニ

ウムという薬品で凝集させ、沈澱させた後、塩素系の消毒薬を加えてからろ過してきれいな水にします。

1日に38,200m³の水を供給する能力があるとのこと。上越市民が一日に家庭で使う水は、一人あたり約230ℓとのことですので、約16万人分ということになります。

毎日安全できれいな水を供給するため、77項目にもわたる検査をするなど、さまざまな工夫をしています。

一緒に見学した市民のみなさんは、「上越の水は大変おいしいが、その裏にはたくさんの努力があることがわかった」と感想を述べていました。



Tel 090-1808-6919 Fax 025-522-5812
E-Mail nanten@joetsu.ne.jp



メール

ホームページ

ブログ

ひららぎ哲也

検索

日本共産党上越市議会議員

ひららぎ哲也の市政ノート

第364号

2017年7月9日